

低学年（1・2年）…基本的な学習習慣を身につけよう

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を

決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

家庭学習のめやす

20～30分

学習の特徴

- 45分を1時間とした授業の中で「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

家庭での援助

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- まずは、毎日宿題をやりきらせることを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

家庭学習の内容

国語

- （音読）・楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。
 - ・句読点（「、」や「。」）に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
 - ・毎日続けて練習しましょう。
- （漢字）・書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
 - ・正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。
- （読書）・子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
 - ・読み聞かせをしてあげることも大切なことです。

算数

- ・計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身に付けましょう。計算カードの活用は、大変効果があります。繰り返し練習しましょう。
- ・文章問題は、内容をイメージ出来ることが大切です。身の回りの生活と関連させたり、絵に描いたりして取り組みましょう。
- ・間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。

その他

- ・音楽の鍵盤ハーモニカの練習や、生活科で動植物の観察なども大切なことです。
- ・楽しかったことやうれしかったことを絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- ・音読を聞いて、上手に読めた部分を褒めて、自己肯定感を向上させてあげてください。

中学年（3・4年）…自主的な学習習慣を身につけよう

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い（言葉）の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができきるようになっていわれます。

家庭学習のめやす
40～60分

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

- 外国語活動の時間や総合的な学習の時間、社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、大きな数や分数、小数など抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭での援助

- 家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を付けさせることが大切です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

家庭学習の内容

国語

- （音読）・毎日音読をする習慣を身に付けましょう。
 - ・様子や気持ちが伝わるような工夫をして音読しましょう。
- （漢字）・正しい書き順で、とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。
 - ・習った漢字は色々な文章で使いましょう。
- （言葉）・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、日々使っていくようにしましょう。
- （読書）・いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。

算数

- ・かけ算や割り算など正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習しましょう。
- ・三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。

その他

- ・学校で学習した内容を振り返り、自分の苦手なところや、計算や漢字の練習をしてみましょう。
- ・日記や作文などの書く機会を増やしましょう。
- ・社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしましょう。
- ・音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカの学習で習った曲の練習をしましょう。

高学年（５・６年）…自学自習の習慣を身につけよう

家庭学習のめやす

60～90分

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。精神面での成長も大きく、自分の考えを強く主張するようになります。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを体験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。

家庭での援助

- 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりすることが大切です。
- 家族の一員として、家事や役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 学習する場所を決め整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

家庭学習の内容

国語

- （音読）・情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決め練習しましょう。
- ・ 詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- （漢字）・ 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- ・ 短文づくりにも取り組みましょう。
- （言葉）・ 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、日々使っていきましょう。
- （読書）・ いろいろな種類の本を選んでたくさん読むように心がけましょう。

算数

- ・ 計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。
- ・ 答えの確かめを自分でできるようにしましょう。
- ・ 新しく学習する内容を予習して、学習の見通しをもてるようにしましょう。

その他

- ・ 学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。
- ・ 日記や自主勉強などで文章を書く機会を増やしましょう。
- ・ 理科では自然や科学、社会では産業や歴史などについて、調べ学習を行いましょう。
- ・ その他の教科でも、学習した内容を家庭生活の中で実践したり、生かしたりできるようにしましょう。

家庭学習の手引き

家庭学習の充実を図るために ～自ら学ぶ子を目指して～

令和3年4月 藤井寺小学校

本校では、子ども達の主体的な学びを育て、学び方を身につけさせ「自ら学ぶ子」を育てるべく日々学習活動に取り組んでまいります。そして「自ら学ぶ子」を育てるためには、子どもたちが一番安心して生活できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことも大変重要になってきます。基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たしています。家庭学習については、「宿題は、どこまで手をかければいいのか?」「どんなことに気をつけて見てあげるべき?」「宿題以外の家庭学習って?」といった声が、これまでも寄せられていました。

そこで、家庭での学習習慣の定着をめざして、家庭生活・家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を考える参考資料として、「家庭学習の手引き」を作成・配布させていただきます。「家庭学習の手引き」では、小学校低学年(1・2年生)、中学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)に分けて、家庭での学習時間のめやす(10～15分×学年)や学習内容の特徴、学習の基本や家庭での援助など学年に応じた家庭学習の在り方を具体的に示してあります。各家庭の事情やお子さんの実態に合わせて、家での約束を家族で話し合いながら活用していただければと思います。

基本的な生活習慣を見直しましょう

1日の生活のリズムをつかませるには…

- ・早寝早起き
- ・朝食を含めた規則正しい食事
- ・朝の排便

などの基本的な生活習慣を確実に身につけ、子どもに合ったことが重要であると考えられています。体調を崩す子どもには、遅い就寝起床・朝食の欠食・不規則な排便習慣などが特に多くみられます。生活リズムを整え、早寝早起きを心がけることにより、起床してから余裕を持って食事、排便、登校の準備ができるようにしましょう。

家庭の学習環境を整えましょう

家庭学習にふさわしい環境とは…

- ・決めた時間にする
- ・決めた場所でする
- ・テレビを消す
- ・その場所の整理整頓をする

などがあげられます。さらに、テレビやゲームの時間が決まっておらず、1日4時間以上テレビを見たりゲームをしたりする子どもたちもいます。最近では、スマホやパソコンを使ってSNSやゲームを長時間行っている子どもたちも増えています。毎日の生活習慣を見直し、勉強をする場所や時間、テレビやゲームをする時間などを決めましょう。また、読書をする時間を決めて、毎日の音読だけでなく、静かに本を読む習慣も身につけましょう。